

令和6年度 生駒市立緑ヶ丘中学校経営方針

令和6年4月

校長 滝澤 治生

1. 学校経営の基盤

生徒の笑顔 誠実な教職員 保護者・地域との連携と協働

- ◇生徒が安心して学校生活をおくり、学びや活動の楽しさを実感する学校づくり
- ◇自らが生き生きと活動し、生徒に寄り添うことを第一とした、熱意ある教職員チーム
- ◇保護者・地域の思いと期待に応え、子どもたち(=地域の宝)をとともに育てる学校づくり

2. 学校教育目標

新しい時代に必要となる力を主体的に身につけていく、やさしくたくましい生徒の育成

3. めざす学校像

- 安全で安心できる学校
挑戦したいことに全力で取り組むことができる、安全で安心できる環境が整った学校。
人権尊重の精神を基盤にした、いじめを許さない正義感と、多様性を認めるやさしさを育む学校。
- 保護者・地域に信頼される学校
保護者や地域の思いに真摯に耳を傾け、情報発信と学校評価を効果的に行い、円滑に情報交換しながら、学校・保護者・地域が連携し協働する、進化を止めない学校。

4. めざす生徒像

- 学びや活動の楽しさに喜びを感じ、意欲的に取り組む生徒
- 必要な力、やさしさ、挑戦する精神を、主体的な行動を通して身につけていく生徒

5. めざす教職員像

- 自らが生き生きと活動し、大人になることへの憧れを生徒に与えることができる、生徒に寄り添う教職員
- 熱意ある教育活動に、生きがいと誇りを持つ誠実な教職員

6. 保護者・地域との連携と協働

- 育友会活動の効果が最大限に発揮される学校
- 各種通信、ホームページ等を活用した積極的な情報発信を推進する学校
- 学校運営協議会と地域学校協働本部を一体的に推進し、相乗効果を発揮しながら、「地域とともにある学校づくり」を実現する学校

学校教育目標を達成するための今年度重点目標

(1)学校安全管理体制の確立

- ① 生徒の安全、安心を第一に考えた教育活動を行う。
- ② 安全や防犯・防災に対する生徒自身の意識を高める取組を推進する。

(2)わかる授業、魅力ある授業づくりの推進

- ① 新学習指導要領の全面実施に伴い、主体的・対話的で深い学びの実現のための授業研究や研修を行い、新時代の学びとなる授業づくりに取り組む。
- ② ICT 機器等を有効活用し、新しい発見や豊かな発想につなげる。また、生徒自身が周りの人たちとともに考え、興味や関心を高めるための、魅力ある授業づくりを推進する。
- ③ 個に応じたきめ細かい指導、学習補充等の実施により基礎学力の充実を図る。
- ④ 行事や部活動・委員会・係活動など、さまざまな体験を通して、感性を豊かにする取組を推進する。
- ⑤ 学校図書館および学級文庫の充実により、読書活動を推進する。

(3)生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実

- ① あいさつを奨励し、生徒の基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。
- ② 状況に応じた生徒との距離感(見守る距離・寄り添う距離)を適切に判断し、生徒への最大の理解と最善の支援を行う。
- ③ いじめの早期発見、早期対応を徹底し、いじめのない学校を目指す。
- ④ 情報モラル教育を推進し、ネットやスマホへの正しい理解の定着を徹底する。
- ⑤ 不登校生徒への対応を充実させる。
- ⑥ スクールカウンセラーや関係機関との連携等により、課題のある生徒への対応を充実する。
- ⑦ 生徒会・委員会・係活動、および部活動などが生徒の主体的な活動となるように取り組み、生徒の自己肯定感や自己有用感を育成する。

(4)命を大切にできる心や人権を尊重する教育の充実

- ① すべての教育活動において、命を大切にできる心を育成する。
- ② 人権尊重の精神を重視し、あらゆる差別を許さない人権教育の充実に努める。
- ③ 共に支えあう心を育成し、全校体制で特別支援教育の充実を図る。
- ④ 食の観点からの命の教育を推進し、食育の充実を図る。

(5)保護者、地域との連携と協働

- ① 各種通信、ホームページ等を活用し、学校の様子や情報を積極的に公表し、信頼関係を構築する。
- ② 保護者や地域の方々と一体になり、さまざまな協働活動を充実させる。

(6)組織力の向上

- ① 報告、連絡、相談を徹底し、情報共有を迅速かつ正確に行う。教職員総がかりで、すべての生徒とつながりを持ち、生徒の学びや活動を支える。
- ② 教職員同士のコミュニケーションを活発にし、互いを尊重し、高めあい、教養ある集団として存在する意識を向上する。
- ③ 幼稚園・保育園・こども園・小学校との連携を深める。